

→ここに注目!

社会科における
思考力・判断力・
表現力の
育成について

社会科 NAVI



日文の実践事例、教科情報

詳しくはWebへ!

日文

検索

未来をになう子どもたちへ

日本文教出版



表紙写真解説

東京駅丸の内駅舎：1914年12月創建。2007年から2012年にかけて、太平洋戦争で失われた3階部分の復元が行われ、創建当時の姿が再現された。国重要文化財。近代化産業遺産。

3 著者だより 私の心の原風景と現代

京都大学名誉教授 佐藤 幸治

4 ここに注目！ 社会科における思考力・判断力・表現力の育成について

大阪教育大学附属平野小学校副校長 丸野 亨

6 教育現場の熱視線 ESDでつなぐ小中一貫教育

奈良県教諭

8 実践ファイル ① 〈小学校編〉お肉が消費者に届くまでの様子を調べよう！

大阪教育大学附属平野小学校教諭 安野 雄一

〈中学校編〉リオ オリンピックを応援しよう！～開催から南米の課題を探る～

京都橘中学校・高等学校前中学校教頭 杉山 勉

12 授業力アップをめざす先生のための社会科のABC

〈小学校編〉社会科っておもしろい!!

國學院大學教授 安野 功

〈中学校編〉中学生にとって社会科はどんな教科？

大阪教育大学・大阪成蹊大学非常勤講師 丹松 美代志

14 みんなくわーろどシネマ vol.13 「禁じられた歌声」

国立民族学博物館教授 竹沢 尚一郎

16 ようこそ！ 歴史史料の世界へ vol.14 行基の布教と大野寺土塔

京都大学大学院教授 吉川 真司

18 現代社会ウォッチング vol.1 外国からみる日本の政治—中国からみる(その1)

筑波大学大学院教授 辻中 豊

20 大人の社会見学 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム

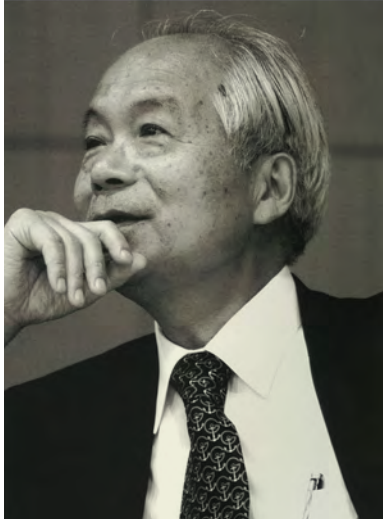
長崎県文化振興課主任学芸員 齋藤 義朗

22 しごと図鑑 奈良国立博物館の学芸員の仕事

奈良国立博物館学芸部長 内藤 栄

著者 だより

リレーエッセイ

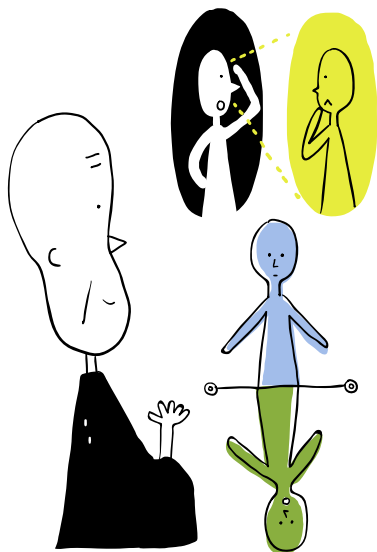


佐藤 幸治 (さとう こうじ)

専門分野／憲法学

主要著書／『現代国家と司法権』(有斐閣, 1988年), 『現代国家と人権』(有斐閣, 2008年), 『日本国憲法論』(成文堂, 2011年)

日本文教出版『中学社会』教科書著者



私の心の原風景と現代

京都大学名誉教授 佐藤 幸治

私は1937年に越後平野の一農村に生まれ、その小学校・中学校で学んだ。遠足で良寛が過ごした国上山中腹の草庵(五合庵)を訪れたときの印象が心に強く残った。進学した新潟高校で国語を教わった渡辺秀英先生は良寛の研究家で、卒業後も長きにわたって良寛の世界へと誘って下さった。

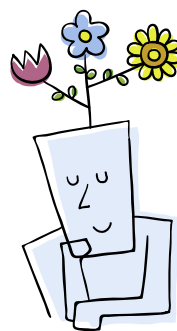
良寛については多くの本が書かれている。良寛の生きた時代は今と大きく異なるが、間もなく八十歳にならんとする今振り返って、この良寛こそ私の(研究生活を含む)「生」を支えてきた“根”のようなものではなかったかと思う。語るべきは多々あるが、ここでは柳田聖山『沙門良寛』の一節を引用するにとどめる。「暗いところに身をひそめると、明るいところは見すかしになりますが、明るいところからは、暗い内部が見えません。人生を上から見るのと、下から見るのとでは、景色はまったくちがいます」。

今世界は、グローバリゼーションの進む中で経済成長のあり方(格差拡大など)や人間の安全保障などに関わる不安を抱え、特に日本は、気の遠くなるような財政赤字と少子高齢化の進行といった事態にある。かかる状況の中で、悲惨な第二次世界大戦という経験への反省に基づき確立・強化を図られた(人間の自由・平等・平和を内実とする)立憲主義体制も、あちこちで揺らぎはじめているかに見える。

昨年私は、『立憲主義について』と『世界史の中の日本国憲法』を書いたが、先行きの見えにくい時代にあればこそ、「自由・平等・平和」を求める人類の長い苦闘の歴史を振り返り、そこに顕現する人類の叡智に深く学ぶべきではないかと考えたからである。そしてそれは、少年期以来心に宿った良寛という一人の人間の「生」のあり様に導かれてのことであつたように思えてならない。

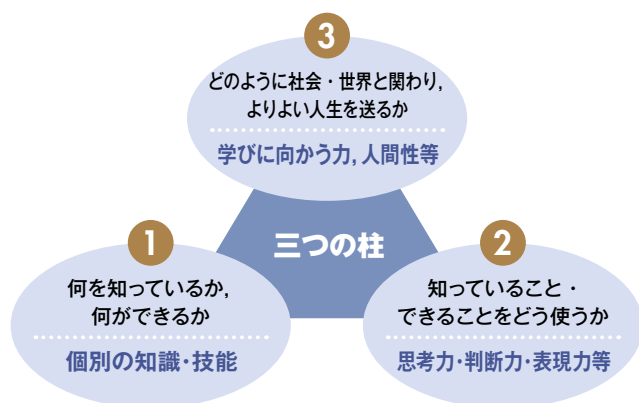
社会科における思考力・判断力・表現力の育成について

●大阪教育大学附属平野小学校副校長 丸野 亨



1 改訂の三つの柱と未来志向型社会科

次期学習指導要領のもとで社会科に求められるのは、未来をイメージし創り出そうとする「未来志向型」の単元像であると考えられる。いわゆる「論点整理※1」によると、今回の改訂の目玉は、育成すべき資質・能力を「三つの柱」とし、学習指導要領等を構造化しようとしていることである。「三つの柱」とは、①何を知っているか、何ができるか（個別の知識・技能）、②知っていること・できることをどう使うか（思考力・判断力・表現力等）、③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか（学びに向かう力、人間性等）である。そして、教育課程の構造を意識して進めていくことが要点である。すなわち、それぞれの柱を切り離して捉えて育成しようとするのではなく、構造的に捉え育成しなければならない。



そのためには、「自分たちはどうすべきなのか」「どのようなことを大切にこれからを考えなければならないか」といった未来志向の問いを考えることを単元の中心に据えることが効果的である。自らの考えを持つために、より確かであり幅広い情報

とそれらをつなげて考えることが必然的に求められる、その態度は主体的に課題解決に取り組み、学びに向かう人間性の育成へとつながる。

2 未来志向の思考力・判断力・表現力

「たたき台」資料※2によると、社会・地理歴史・公民ワーキンググループで議論中の思考力・判断力・表現力等は、①社会的な見方や考え方をを用いて、社会的事象（等）の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、②社会的な見方や考え方をを用いて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想する力、③考察したこと、構想したことを説明する力、④考察したこと、構想したことを基に議論する力、である。そして、それぞれについて、小・中・高の各段階に合わせて育成していくイメージが描かれている。

私は②の「構想する力」に着目したい。「構想」とは、課題を見出し解決するために、社会事象の意味や意義、特色や相互の関連について捉えることにとどまらず、「自分たちはどうすべきか」「どのようなことを大切にこれからを考えなければならないか」といった未来を考えることであり、この「構想する力」を育成するのが「未来志向型」の単元だと考える。

そして、「構想」は③、④で「説明」と「議論」の力へとつながる。自分から他者への一方向の「説明」にとどまらず、考えをつなげたり、組み合わせたりといった多方向からの「議論」が求められている点も、実社会への参加とこれからの社会形成のための資質・能力が強く意識されている。ここでも、未来志向型社会科への転換の必要性が読み取れる。

3 未来志向型社会科への転換

前掲の「論点整理」によると、アクティブ・ラーニングも含めた指導方法の不断の見直しが求められている。そのために三つの視点が挙げられているが、特徴的なのは、「子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか」という視点が入っていることである。実社会や実生活に関わる主題を取り入れることが、子供の学びに向かう力を刺激するために重要とされている。

社会科で取り上げる実社会の課題の多くは、一面的な見方では解決できない。多様な立場や考えがあることを理解し、多角的・多面的に考察することが必



要である。そうした「考察」の上に、「これから」を考える「構想」を学習過程に取り入れることが、主体的な学びの過程の実現につながる。それは、これまで大切にされてきた課題解決の流れを「未来志向」にアレンジすることである。

例えば、上の写真は課題把握場面にシミュレーションゲームを取り入れたものである^{※3}。自動車工場や第1次、第2次関連工場の立場に分かれ、また、同時に自動車を購入する消費者の立場にもなっていく。自分

たちのゲーム進行上の工夫から学習問題を見出すことができる。「どう工夫したか」が「実際にはどう工夫しているか」に変わり、従業員の労働環境や環境保全への取り組みなどの観点が加わって「どう工夫すべきか」へとつながる。

また、下の写真は、タブレット端末を活用して互いの考えを共有している場面である。ペアやグループ、全体での話し合いでは難しい、学級の間がどんな考えを持っているかを即時的に可視化することが可能となる。これも、それぞれのこれからへの「構想」を全体で共有し、多様な考えがあることを理解する手



立ての一つである。これらの例のような改善を学習過程に加えるなど、単元構成に不断の見直しをかけていきたい。

ゆえに、私は思考力・判断力・表現力等を育成するために、社会のこれからを考える「未来志向型」の単元へと転換を図っていくことを提案する。

- ※1 文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会教育課程企画特別部会「教育課程企画特別部会における論点整理について（報告）」
- ※2 同上 社会・地理歴史・公民ワーキンググループ（第11回）配布資料10「社会、地理歴史、公民における思考力、判断力、表現力等の育成のイメージ（たたき台）」
- ※3 拙稿「体験と言語を結び付ける社会科の授業づくり～シミュレーション・ゲームによる問題決定場面の授業開発を通して～」日本社会科教育学会 全国大会発表論文集 第9号（2013）P.78-79

● 丸野 亨（まるの とおる）

小学校教員として20年目を迎えます。授業は子供と教師が共同でつくるものと考えます。ゲームや遊び、プロジェクト学習の手法を用いて、行為志向的な授業構成でコミュニケーションを促すことにチャレンジしています。





ESDでつなぐ小中一貫教育

奈良市内の全ての中学校区で行われている小中一貫教育。
「モデル校」(平成27年「パイロット校」と改称)である本中学校区では、
ESDで小・中をつないでいます。

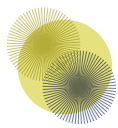
●奈良県教諭



世界遺産学習とESDについて

本中学校区では、「1小1中連携型」の「モデル校」として、9年間を見通したカリキュラム、つまり柱を編成して小中一貫教育を展開している。柱を設定する際には、「都跡らしい教育」となるよう熟慮した。結果、柱を世界遺産学習とした。

教育課程企画特別部会の論点整理では、これからの日本を考えていく新しい教育のひとつとして、ESDを紹介している。ESDとは、持続可能な開発のための教育の略で、「持続可能な社会づくりの担い手を育む教育」と文部科学省は定義している。一方、奈良市教育委員会は、世界遺産学習を「世界遺産や地域遺産、伝統文化、自然環境、平和、人権など多様な学習へと展開することで持続可能な社会の担い手を育てることを目的とした学習」と定義している。両者の目的は一致しているといえる。下でも紹介するが、恵まれた立地にある本校区においては特に大事にしたい学習である。



校区の特徴

本中学校区は、平城宮跡、薬師寺、唐招提寺という3つの世界遺産を有している。都跡という校名の由来は、読んで字のごとく「都の跡」である。1300年前の都跡小学校や都跡中学校の位置は、平城京の敷地内であった。都跡小学校の住所は「奈良市四条大路」であり、都跡小学校の校門から100mほど北へ行くと「三条大路5丁目」という交差点がある。都跡小学校と都跡中学校の間には、五条町や六条町という地名もある。これらの地名は全て、条

坊制が敷かれていた平城京の道の名前である。端々に「都の跡」を感じることのできる校区である。また、薬師寺や唐招提寺の関係者が、保護者にいる学年もある。このような恵まれた立地であるため、上述した「都跡らしい教育」として、世界遺産学習を設定することになった。



系統立った世界遺産学習にするために

小中一貫教育が始まる以前から、世界遺産学習は行われてきた。しかし、小・中間の学習内容や方法の共通理解がなかったり、9年間の系統立ったカリキュラムでなかったりというのが現状であった。そこでまず、小・中の研究主題のすり合わせを行った。結果、副題を「9年間を見通した世界遺産学習を通して」と同じ文言に揃えた。次に、学習内容と方法を洗い出すことにした。すると、学習内容や方法、付けさせたい力を基に4つのステージに分類することができた。下表にまとめる。

ステージ	学年	ステージの概要
しる	小1 小2 小3	世界遺産や地域遺産にふれ、地域の「宝物」を守っていこうとする態度の素地を養う。
わかる	小4 小5	世界遺産や地域遺産を守っていくために尽力した人々の思いや、世界遺産そのものについての知識を学ぶ。
ふかめる	小6 中1	別の視点から地域遺産や世界遺産を捉え直すことで、考えを深める。
ひろげる	中2 中3	他の都市と自分たちの「まち」を比較・分析することで、自分たちの「まち」を見つめ直す。

▲ 表：都跡小中学校における世界遺産学習の4つのステージ(筆者作成)



▲ 地域の方の力を借りての平城宮跡オリエンテーリング



▲ タブレットを活用して平城宮跡をガイド

また、1年間が1つのステージで終始することなく、その学年内でも「知る」「わかる」「ふかめる」「ひろげる」という4つの段階を設けるよう配慮して、学習を進めていくことを確認した。さらに、9年間の学習内容の系統表や評価規準を作成したり、重点学習対象を設定したりして、より系統立てた世界遺産学習を進めることができるように整備した。



小学4年生の実践から

小中一貫教育全国サミット in 奈良が開催された27年度、筆者は小学4年生を担当していたため、4年生の実践を紹介することにする。

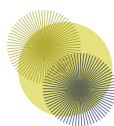
4年生の世界遺産学習は、いわゆる「中興の祖」を切り口に、学習を進める。

1学期は、「棚田嘉十郎と平城宮跡」をテーマに、「田畑となっていた平城宮跡は、どのようにして世界遺産になったのだろう」と学習課題を設定し、オリエンテーリング【写真左】や、ゲストティーチャーの話、地域資料から学びを進めた。社会科小単元「地域の発展に尽くした人々」とも関わりをもたせた。

2学期は、「高田好胤と薬師寺」をテーマに、「荒れていた薬師寺は、どのようにして世界遺産になったのだろう」と学習課題を設定し、ゲストティーチャーに、学年の保護者でもあった薬師寺の僧侶を招いたり、その方による薬師寺案内を受けたりして、学びを進めた。1学期の学び方を活かした学習とな

るよう配慮した。

E S Dを実践する際、外せないポイントのひとつに、行動化が挙げられる。1年間の最後の「ひろげる」ステージであること、さらに行動化を組み込むことを踏まえ、3学期は、これまで学習してきたことを発信する場面を2つ設定した。1つ目は、ユネスコスクール交流である。これは、奈良教育大学のE S Dコンソーシアムの援助を受け、成立したものである。彦根市立の小学校の4年生と交流し、「まちの宝物」である彦根城と平城宮跡を互いにガイドし合い、学びの発信の場面とした【写真右】。2つ目は、2分の1成人式である。昨今の世論も考慮し、保護者へ感謝の気持ちを伝える場のみとするのではなく、学びの発表にも重きを置いた。式終了後の懇談会で、保護者は「この1年間の取り組みはずっと忘れないだろう」と、取り組みや式を肯定的に捉えていた。



おわりに

小中一貫教育にせよ、E S Dにせよ、目に見える子どもの変化が現れるには時間がかかる。しかし、小中学校の教職員が共に義務教育9年間をどうするかを話し合うことは、子ども理解や教材理解につながり、ひいては子どもの学びや成長となる。今後も、小中一貫教育とE S Dを活用することで、子どもの学びや成長を支えていきたい。



5年生

お肉が消費者に届くまでの様子を調べよう!

●大阪教育大学附属平野小学校教諭 安野 雄一



本大単元では、まず、日本の地理的条件を活かした米作りと水産業の様子について学習した。農業や水産業について、調べたことを土台に対話を通して考えたり、ICTを活用して、実際に農業や水産業に携わっている人たちにインタビューをしたりしながら学習を進めていった。その中で児童は、食料生産と地理的な条件の間には密接な関係がある事を掴み、私たちの食生活の実態と繋がっていることを学習していった。その上で、貿易問題を切り口に、日本におけるこれからの食料生産の在り方について学習を展開した。この際、児童から「TPPと農業の関係について、みんなで考えてみたい」という声が上がった為、TPPの是非について価値判断する授業を組み込んだ。この様子から、児童が時事問題から

社会的事象について進んで考えようとする姿が見取れた。

児童の実態から、本小単元（選択）では、日本における畜産業の様子について学習する事とし、私たちの食生活と畜産業との間にも、大きな関係があることを捉えられようようにしたいと考えた。従って本時では、消費者（私たち）のニーズと畜産業者の仕事が関係している事を掴み、その上で、家畜伝染病の問題が出た際の殺処分について価値判断する中で、多角的に畜産業について考えることをねらいとして授業構成をした。

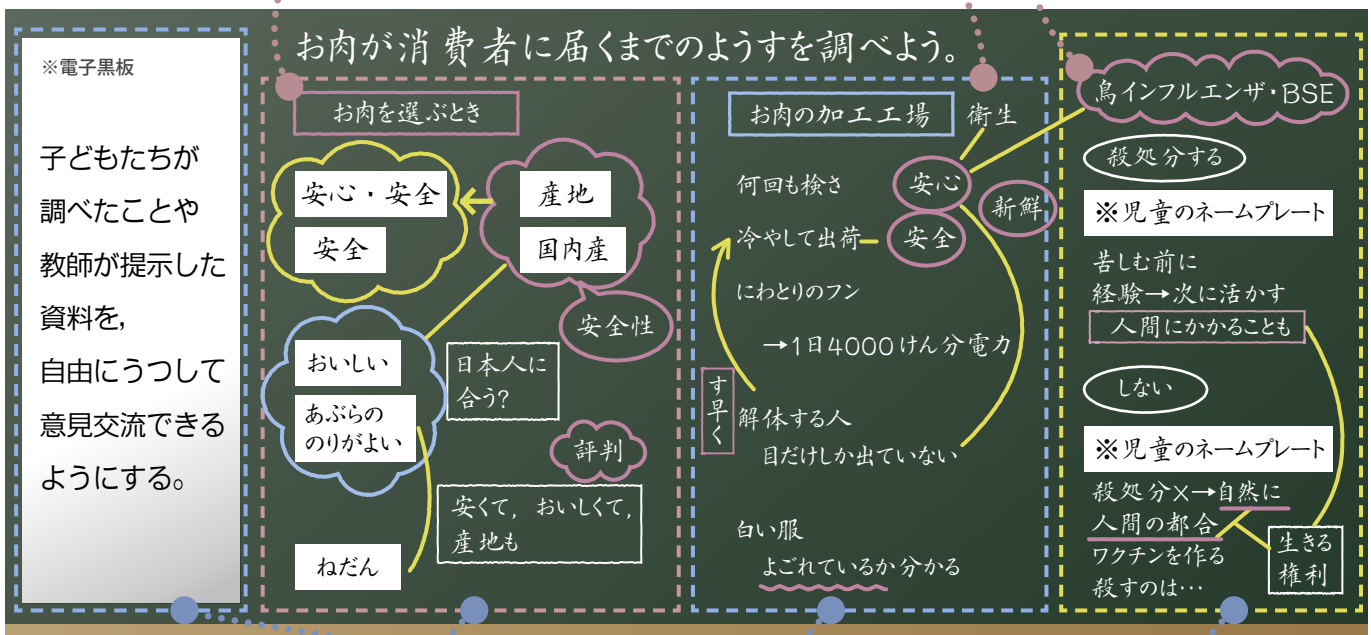
評価については、児童の発言やノートの記述から「座席表」を作成し、私たちの食生活と畜産業の仕事の関係について捉えているかを見取った。また、見取りを活かして、次時の学習に繋げるようにした。

発問例

家族や君たちがお買い物でお肉を選ぶ時、どんなことに気をつけて選んでいますか（選びたいですか）。

お肉の加工工場では、どんなことに気をつけて、どんな仕事をしているのだろう。

鳥インフルエンザやBSEなどの問題が出てきた時、君たちは家畜を殺処分すべきだと思いますか。



Point

グループで考えたことが共有され、結び付けたり、比較したりしてこれまでの生活を振り返れるようにする。

調べたことや気づいたこと、知っていること（畜産業の現状）が表れるようにする。

ネームプレートと板書で、児童がどこに価値を置いて家畜の殺処分について考えているのかが表れるようにする。

本時の展開例

児童の活動と内容	指導上の留意点
⌚…配分時間 教…教師の発問・指示・説明例 児…予測される児童の発言	
①最近の食事を振り返る。 ⌚ 5分 教 この一週間ぐらいで、どんなものを食べましたか。 児 私はカレーを食べました。ジャガイモやニンジン、お肉も入っていました。 教 ○○さんみたいに、お肉を食べた人はいるかな。そのお肉って、どうやってつくられているんだろう。	- 身近な食生活を振り返り、生活経験と学習内容を結び付けて考えられるようにする。 - 食事でどんなものを食べたか、児童の発言を促すようにする。 - 児童に広く意見を求めるようにする。
学習問題 お肉が消費者に届くまでの様子を調べよう。	
②お肉を選ぶ時に大切にしていることを話し合う。 ⌚ 10分 教 お家の人や君たちがお肉を選ぶ時、どんな事を大切にしているかな。 児 「安心・安全」です。食べるものだから。 児 私は「産地」に気をつけています。「国産」のものがいいな。グループでは「安全性」にも関係しているのでは話し合っていました。でも、「値段」も気になります。	- 生活経験をもとに、消費者の思いに迫るように促す。 - グループで対話するようにし、話し合ったことで重要だと考えたものを各グループでミニホワイトボードに書き、黒板に貼るようにする。 - 各グループが貼ったミニホワイトボードは、グルーピングして、考えを視覚化するようにする。
③消費者のニーズと畜産業の仕事の関係を調べる。 ⌚ 15分 教 私たち消費者の思っていることと畜産業の仕事って、関係があるのかな。調べてみましょう。 児 何回も検査して、「安全」なお肉を出荷しているね。 児 冷やして出荷していて、これも「安全」に繋がると思います。 児 白い服を着て、汚れが分かるように工夫しているみたいだね。 児 「衛生」にも気をつけていて、鳥インフルエンザとかが出たら、殺処分するみたいだよ。	- 教師が作成した資料や関連書籍、ICTを活用して、畜産業者の仕事内容を調べ、意見を交流するようにする。 - 児童が調べたことを、自由に電子黒板にうつしながら、意見交流できるようにする。 「安全・安心」な畜産業が行われていることを理解することができるようにする。
④殺処分するべきかするべきでないか、価値判断する。 ⌚ 15分 教 鳥インフルエンザ等が出たら殺処分すべきだと思いますか。 児 人間にかかるかもしれないから、殺処分するべきだと思う。そして、次に活かすことが大切だと思います。 児 それは人間の都合で、鶏にも生きる権利があると思います。	- 時事問題から、社会的事象に迫るようにする。 - 自他の様々な考え方を認め合いながら、話し合いが進むようにする。 - 殺処分までして、衛生に気をつけていることを掴むことができるようにする。



授業を終えて…

児童は、買い物に行った時に家族がどんな基準でお肉を選んでいるか、自分ならどんなお肉を選ぶかという事を活発に意見交流していました。生活の様子を意識させることで、畜産業に携わる人たちの仕事について、積極的に調べ、対話の中から学びを深める姿が見られました。また、家畜伝染病などの問題について取り上げ、なぜ家畜を殺処分するのか新聞記事から考え、その施策は正しいのか価値判断する場面を設けました。子どもたちは、主に「人間の立場」「家畜の立場」「生命倫理」「経済」の面に価値を置いて考え、活発に意見交流していました。



国学院大学教授 安野 功先生からの一言アドバイス

すごい子どもたちが育っていますね。時事問題であるTPPに関心をもっているというのですから驚きです。

さて、畜産業者にとってTPPは深刻な問題です。外国との価格競争に巻き込まれるからです。でもこの問題は国民の食生活とも深くかわる重大事です。食の安全を脅かされる恐れがあるからです。

そのことを踏まえ、本実践ではグループでの対話を通して消費者のニーズや願い（「産地＝安全性」と「価格」）に気づかせます。その上で食の安全が日本の畜産業者の手によって実現されている事実に出会わせるという見事な流れになっています。こうした人々の営みに出会わせることで、我が国の産業の発展に関心をもつ子が育つのですね。



【地理的分野】南アメリカ州の導入

リオ オリンピックを 応援しよう！

～開催から南米の課題を探る～

●京都橘中学校・高等学校前中学校教頭 杉山 勉



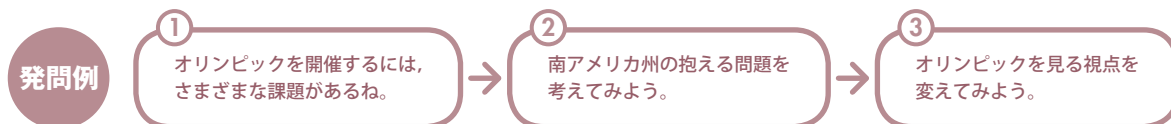
2020年の第32回オリンピック競技大会が東京に決定して以来、新国立競技場建設やエンブレム問題など、さまざまなことがマスコミをにぎわしている。しかしその前に今年8月5～21日（現地時間）までの間、第31回オリンピック競技大会がブラジルのリオデジャネイロを中心に繰り広げられる。これは南アメリカ州初の大会であり、昨今の不安定な国際情勢の中で、明るいニュースの一つとして世界で注目されている。

本小単元（南アメリカ州）では、オリンピックを明るいニュースとしてとらえつつも、ブラジルがBRICSの一つといわれながら、森林伐採による環境破壊や政治不安・経済的貧困などの問題を抱えている現状を知り、国際的課題の一端を理解させることをねらいとする。

本時は1/5時であり、リオオリンピックを題材に南アメリカ州への興味・関心を喚起する導入として、時差や国際的課題の提起の時間とする。この授業は本時だけで収束するものではなく、生徒たちにとっては夏休みを通して国際社会の理解を深めるきっかけにもなる。

生徒たちが、熱帯雨林乱伐による地球温暖化などの地球環境問題、また国家間の利害対立や経済的格差などの社会問題にも興味・関心をもち、国際社会に目を向ける次世代を担う国際人としての成長を指導者は期待する。

評価については、生徒の発言やノートの記述、夏休み課題としてのレポート作成を通して、国際的課題に対して興味・関心をもって取り組めたかどうかを見取っていく。



南アメリカ州—開発・環境問題と人々の生活をテーマに—

(1) リオ オリンピック開会式の生中継を見る……時差を調べよう

ブラジル リオデジャネイロ 西経 42 度 8 月 5 日 (金) 午後 6 : 00 ~ 11 : 00		日本 明石 東経 135 度 8 月 6 日 (土) 午前 6 : 00 ~ 11 : 00
--	--	---

●ポイント：経度 15 度で時差 1 時間、日付に注意、サマータイム？ リオは南緯 23 度（南半球）→季節は逆

(2) リオ オリンピックを通して、南アメリカ州の課題を考えよう

●地球環境問題：熱帯雨林伐採、地球温暖化、ジカ熱、エルニーニョ……

●政治的・経済的問題：政治不安、財政危機、治安、テロ、貧困、スラム……

- Point**

時差の計算のポイントはわかりやすく。

生徒の発言を生かしながら、「地球環境問題」「政治的・経済的問題」をチョークで色分けしていく。

次回以降に生徒の興味・関心を持続させていけるように、今後もマスメディアなどの情報に注目させる。

本時の展開例

生徒の活動と内容	指導上の留意点
⌚…配分時間 教…教師の発問・指示・説明例 生…予測される生徒の発言 ①導入：新国立競技場やリオ オリンピックの ⌚10分 写真を見て話し合う。 教オリンピックを開催するには、さまざまな課題があるね。 生「財政」「環境問題」「治安」……。 教スポーツ観戦を楽しむ中で、その背景も学んでいこう。 そのためにリオ オリンピックの衛星生中継を見てみよう。 学習問題 日本でリオ オリンピック開会式を見るのは、何時？	- 生徒達のオリンピックに対する興味・関心の喚起を図る。 - 東京の新国立競技場のデザイン、建設費用、聖火台、エンブレム問題などを想起させる。 - ブラジルの政治不安、財政、治安、開催そのものの問題などを日々のニュースから取り上げていく。
②展開Ⅰ：時差の調べ方や南アメリカ州の ⌚15分 地球上の位置を知る。 教開会式は現地時間で8月5日（金）午後6時～11時 生リオは西経42度 生日本の明石が東経135度 生日本の真反対だから、12時間の時差 生日本時間では8月6日（土）午前6時～11時 教ブラジルはサマータイム制を実施している。 生1時間ずれて、午前5時？ 生ブラジルは南半球にあるから、サマータイムは10月～2月。 現地時刻に変更はない。 学習問題 リオ オリンピックの背景にある課題には何があるだろう。	- 地図帳の活用から、時差計算の作業学習をさせ、時差について理解させる。 - 東回り、西回りのどちらからでも生徒のやりやすい方法で計算させる。ただし日付に留意させる。 - サマータイム制では1時間の違いが出ることについて、考えさせる。 - 南半球と北半球では季節が逆になることに気づかせる。
③展開Ⅱ：南アメリカ州の課題をあげてみよう。 ⌚20分 教オリンピック開催前に話題になった問題にはどんなことがあったかな。 生「ジカ熱」「政治不安」「治安問題」「経済的貧困」「テロ対策」……。 教では南アメリカ州の地図を見て、南アメリカ州の抱える問題も考えてみよう。 生アマゾン川流域のジャングルの減少 生「地球温暖化」「地球環境問題」「経済的格差」……。	- オリンピック開催は明るいニュースであるが、開催にあたっての問題を考えさせる。 - リオ オリンピック開催そのものが危ぶまれていたことも紹介する。 - ヨーロッパ州での酸性雨、アフリカ州での砂漠化は既習したことを想起させながら、ブラジルから南米の課題を広げて考えさせる。 - これから学習していく課題の整理をさせる。
④次の予告：本単元の授業構成について ⌚5分 教南アメリカ州の自然（地形・気候）→（2）（3） 南アメリカ州の人々のくらしや文化 →（4）（5） 教授業だけでなく、オリンピックを見る視点を変えてみよう	- これからの学習内容の構成をつかませ、南アメリカ州に対する興味・関心の喚起を図る。 - スポーツ観戦だけでなく、アナウンサーの情報提供などに留意させるようにする。

本単元（南アメリカ州 5時間計画）の授業展開

- 南アメリカ州の導入（本時）キーワード：時差、南半球
- 「自然環境」
キーワード：アンデス山脈、アマゾン川、熱帯雨林
- 「環境問題」
キーワード：熱帯雨林、地球温暖化、エルニーニョ現象
- 「民族・文化・産業」
キーワード：インディオ、植民地、移民、日系人、プランテーション
- 「経済格差・経済的貧困問題」
キーワード：BRICS、都市問題、治安、経済格差

今後の発展学習へのつながり

生徒の興味・関心の広がりや深化への方向付け

【例】

- パラリンピック（9月7～18日）→障がい者スポーツ大会、ユニバーサルデザイン
- ジカ熱問題→国際協力のあり方、国際機関の役割
- 熱帯雨林の乱伐→地球温暖化の環境問題への取り組み
- ブラジル→日本との関係（日系人・貿易など）

社会科のABC

小学校編

社会科っておもしろい!!

● 國學院大學教授 安野 功

社会科って、本当はすごく魅力的な教科なのです。

子どもにとっても教師にとっても。

社会科の一番の魅力は、みんなで「？」=不思議を見つけ、その秘密を解き明かすことです。

社会科は暗記教科ではありません。自分の目や耳、頭をフル回転させて問題を見つけ、友だちと知恵を出し合い、それぞれの子どもがその子らしい自分の考えを出していく。それが本来の社会科の姿なのです。

それはなぜか。社会科はソーシャルスタディーズ (social studies) の訳語だからです。スタディ=研究・探究。ラーン (learn) =習得ではありません。しかも複数形です。つまり、教師に教えられたことを覚えて身につけるのではなく、みんなで探究し合い、自分の考えを創り出していく教科なのです。

探究といっても、小学校はその入門期にあたり、高度な学習が求められているわけではありません。

探究や問題解決のはじめの一步は「問い」=「？」を見つけることです。それを大事にすればいいのです。

例えば、ある小学校の4年生が通学路の危険な場所を調べて「校区ひやりマップ」をつくりました。交通事故の心配がある場所を調べ、そこに赤シールを貼り、危険な場所が一目でわかる地図をみんなでつくったのです。すると「N通り」は赤シールがいっぱい。その子どもたちの驚き（発見）を受け、先生がだめ押しのグラフを提示します。子どもたちが住む区が市内で最も交通事故の多い地域だという事実を示すグラフです。子どもたちの顔が一瞬暗くなります。ここで教科書を見た子どもが発言します。「でも、ふつう危ない道路には、歩道橋など（安全を守る施設・設備）があるはずだよ」

この発言を

きっかけに「N

通り」の交通事

故を防ぐ施設・

設備調べがはじ

まります。見つ

けた施設・設備

のある場所に緑シールを貼るのです。ところが、予想

とは裏腹に赤シールの多い場所（危険な場所）には緑シールがあまりありません。「あれ？これじゃあ交通

事故だらけだよ！」その反応を待っていた先生は、

「N通り」の事故件数の資料を提示します。「0件

だ」「よかった。でも何で0件？」「施設じゃなく、

警察の人が頑張っているのかな？」この素朴な問いの

発見の連続が、その後、「警察の人はどのようにして事故を防いでいるのだろう」の追究の原動力になって

いきます。

このように、一人ひとりの子どもに驚きや不思議を

体験させ、素朴な問いを引き出していく。そして、教

師の支援を受けながらも自分たちの体と頭で秘密を解

き明かしていく。この問題解決の連続こそが社会科の

醍醐味であり、一番の魅力なのです。

ほかにも社会科には多くの魅力があります。それ

は、実社会で活躍したり、頑張ったりしている人に出

会えることです。様々な人に関わって学ぶ。そして、

答えが1つとは限らないこと。どの子の考えにも一理

ある。それを認め合い友だちから学ぶことができるの

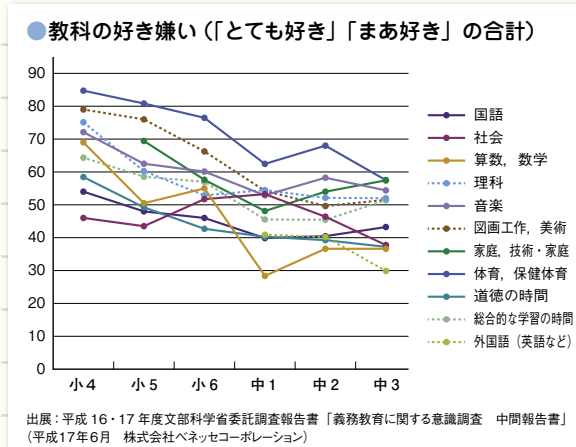
です。

社会科の一番の魅力は、
みんなで「？」=不思議を見つけ、
その秘密を解き明かすこと



●中学生は社会科が好き？嫌い？

中学生は社会科をどう捉えているのでしょうか。下のグラフは、文部科学省がベネッセに委託して調査した児童・生徒の教科の好き嫌いについてのものです。



グラフからわかるように、社会科が「とても好き」「まあ好き」と答えた中学3年生は40%を切っています。ということは、60%を超す生徒が社会科嫌いということになります。私たちが社会科の授業を考えるとき、この現実を直視する必要があります。

では、社会科はどんな教科と言えるでしょうか。「先生、社会科はどうして学ばなければならないんですか。覚えることが山のようにあってたいへんです。できればやりたくないですが…。」こんな生徒の疑問に、あなたはどのように答えますか。

小・中学校の学習指導要領では、社会科の教科目標は「公民的資質の基礎を養う」となっています。また、全国社会科教育学会は『社会科教育実践ハンドブック』（2011年、明治図書）の中で、社会科の目標と学力について、次のように示しています。

第1は、「社会を生きる」ための力の育成

第2は、「社会がわかる」ための力の育成

第3は、「社会に生きる」「社会をつくる」ための力の育成

この社会を「しる・わかる・つくる」が、社会科の教科目標ということになります。つまり、社会科は世の中と直結した教科だといえます。問題なのは、私たちが進めている日々の授業が世の中と直結したものになっているかどうかです。生徒の生活と結びついている、校区の課題とつながっている、今日のわが国の課題と重なっている、国際間の今日的課題につながっている、生徒が将来を考える上で多くの示唆が得られる、というような授業内容になっているのでしょうか。

●教科と実社会とのつながり

教室での学びが社会とつながっていないのは、社会科に限った課題ではありません。2014年11月に文部科学省は次の学習指導要領の改訂に向けて、中央教育審議会に以下のような諮問をしました。

ある事柄に関する知識の伝達だけに偏らず、学ぶことと社会とのつながりをより意識した教育を行い、子供たちがそうした教育のプロセスを通じて、基礎的な知識・技能を習得するとともに、実社会や実生活の中でそれらを活用しながら、自ら課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に探究し、学びの成果等を表現し、更に実践に生かしていけるようにする。

これは、新しい時代に必要となる資質・能力の育成、いわゆるアクティブ・ラーニングの姿を示したものです。

どのようにすれば、生徒がこのような資質・能力を培わせることができるのか、このシリーズと一緒に考えていきましょう。

「禁じられた歌声」

2014年 フランス・モーリタニア映画 97分
監督／アブデラマン・シサコ

●国立民族学博物館教授 竹沢 尚一郎



© 2014 Les Films du Worso © Dune Vision



「みんなぱくワールドシネマ」は、国立民族学博物館（みんなぱく）が実施する映画会の名称である。これまで33本の劇映画を上映してきた。平成28年度はテーマを「出会いと創造」に刷新し、新たなスタートをきった。人と情報が大規模に地球上を移動する今日、世界中で文化を異にする人々の遭遇が増加している。その結果、移民の排斥や狭小なナショナリズムの高揚など、異文化に背を向ける傾向が一部に見られるようになってきた。これは異文化理解に基づき人間の文化的多様性を探求する民族学にとって看過できない事態である。文化的な他者との出会いを、潜在的な脅威として否定的にとらえるのではなく、新たな文化の創造の機会として肯定的にとらえる「共創」の態度が、今こそ必要だ。「出会いと創造」をテーマに、「みんなぱくワールドシネマ」では、異文化やさまざまなサブカルチャーとの出会いとそこから生じる葛藤、交渉、創造が描かれた劇映画を上映していく予定である。

（国立民族学博物館准教授 鈴木 紀）

砂に書かれた物語

砂 漠にテントを張って暮らすトゥアレグ人家族。父と母、娘からなるこの家族は、両親を失った少年をひきとり、牛の世話を任せて暮らしている。少年の両親はトゥアレグ人の独立運動で命を失ったらしく、そのことは、「私の両親は音楽をつづけることで生き延びた」という娘の語りにも示唆されている。

一方、古都トンブクトウの街では、イスラーム主義者による抑圧が過酷さを増していた。人びとは音楽を禁止され、サッカーに興じることを禁止され、意に反して武装勢力の一員と結婚することを強制される。とはいえ、人びとはそれに唯々諾々と従っているわけではない。サッカーを禁じられた若者たちはボールのないサッカーに興じ、武器をもってモスク（イスラーム寺院）

に入ってくる武装勢力に対しては、イスラームの教えに反するといって抗議するのである。

そして、くりかえし描写される音楽や踊り。人びとは夜の闇に紛れて音楽を楽しみつづけるが、それが発覚した女性はむち打ちの刑に処せられる。むちが背中に当たるたびに苦悶の表情を浮かべていた彼女は、苦痛がいよいよ耐えがなくなったとき思わず歌を歌い始める。暴力と抑圧に対して自由と音楽を対比させることこそが、この映画の基本的なメッセージであるといえよう。

街での抑圧とは無縁であった家族だが、少年の飼う牛の一頭が漁民の網を破壊したことで、暴力に直面することを余儀なくされる。牛を殺された父親は漁民に抗議し、あやまって殺してしまう。その結果、街を支配するイスラーム勢力の暴力の前に悲劇を迎えるのである。

古都トンブクトゥ

この映画は舞台がトンブクトゥであるだけでなく、トンブクトゥという都市とそこに住む多様な人びとこそが映画の真の主人公だといってよい。

トンブクトゥは、ニジェール川とサハラ砂漠が会う地点に築かれた都市であり、800年にわたり地中海世界と西アフリカを結ぶサハラ交易の拠点として栄えた。それだけでなく、北のアラブ人やトゥアレグ人と、南のソンガイ人やバマナン人などの言語も文化も異にする人びとが共存する街であった。そのような豊かな歴史と文化を背景に、人びとは近年の変化や紛争にもかかわらず誇りをもって生きており、そのことがこの映画を豊かなものにしている。

この映画が誕生したきっかけは、



2012年にトゥアレグ人の独立運動が激しくなり、その混乱に乗じてアルカイダ系の武装勢力が支配を拡大したことであった。トンブクトゥを含むマリ共和国は、アフリカ諸国の中では例外的なほど平和と民主主義を実現した国であった。ところが、北半分が武装勢力に支配され、イスラーム法の名のもとで人びとの日常生活は抑圧された。音楽やスポーツが禁止されただけでなく、盗みの容疑者は両手を切断され、婚外交渉で子をもうけたカップルは石投げの刑によって処刑された。また、トンブクトゥに伝わる多数の古文書も焼却などの被害にあったのである。

それに対し、長いイスラームの伝統を持つトンブクトゥの人びとは、古文書を他の荷物の下に隠して外に持ち出して保護し、銃をもってモスクに入る武装勢力に対してはイスラームの教えを盾に抗議した。そうしたトンブクトゥの人びとのしたたかな抵抗を描き、さらには武装勢力にもさまざまな悩みや個人的な思いがあることを描いている点に、この映画の力があるといえてよい。

この映画はフランスの最高の映画賞であるセザール賞を獲得したほか、アカデミー賞の外国映画賞にもノミネートされるなど高い評価を得ている。一方、トンブクトゥを含むマリ北部はフランス軍の軍事介入によって解放されたが、いまだ真の平和の実現にはほど遠い状態にある。



▲ 世界遺産に登録されている古都ジェンネのモスク

● 竹沢 尚一郎

(たけざわ しょういちろう)

専門分野

社会人類学、アフリカ史

主要著書

『西アフリカの王国を掘る 文化人類学から考古学へ』(臨川書店、2015年)、『被災後を生きる：吉里吉里・大槌・釜石奮闘記』(中央公論新社、2013年)

● 鈴木 紀

(すずき もとい)

専門分野

開発人類学、ラテンアメリカ文化論

主要著書

『国際開発と協働：NGOの役割とジェンダーの視点』(共編著、明石書店、2013年)、『朝倉書店世界地理講座14 ラテンアメリカ』(共編著、朝倉書店、2007年)

国立民族学博物館(みんぱく)では、9月22日(木・祝)の映画会「みんぱくワールドシネマ」で、「禁じられた歌声」を上映します(無料。ただし、展示観覧券が必要です)。

詳しくはみんぱくのホームページ <http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs/> をご覧ください。

行基の布教と大野寺土塔

● 京都大学大学院教授 吉川 真司



▲ ①上空から見た復原された土塔 (①, ③～⑦写真提供 堺市文化財課)

行基と大野寺土塔

行基は奈良時代を代表する民間布教僧です。ただ仏法を説くだけでなく、池や溝を築造し、大河には橋を架けて民衆を救済しました。人々を信仰集団にまとめ上げ、大きな社会事業を進める力を、行基は備えており、聖武天皇はそれゆえ彼に帰依し、大仏建立への協力を要請したのです。

神亀 4 (727) 年、行基は和泉国大鳥郡に大野寺を建立しました。大野寺は行基の四十九院、つまり畿内に設けられた数多くの道場のなかでも、行基と信仰集団の活動を最もよく示すものです。

大野寺の遺跡は大阪府堺市中区土塔町にあります。地名からわかるように、現地には土塔という巨大な高まりがあったのですが、近年発掘調査が行なわれ、精密な復原がなされました。

古代の姿を取り戻した土塔は、まるで「瓦のピラミッド」です。一辺 53 m の正方形土壇の上に高さ 9 m の四角錐が土で築かれ、その全体を瓦が覆い、12 の段がついています。かつて頂部にあった小型建物の屋根とあわせて、13 重の塔になるわけです。発掘調査では、多くの人々が参加できるような工法がとられていたことも判明しました。

文字瓦が語る人々の信仰

土塔に葺かれていた瓦には、さまざまな文字が刻まれていました。今でも寺院に瓦を寄進するとき、名前や祈願を墨書したりしますが、よく似たことが奈良時代にも行なわれていたのです。生乾きの瓦にへう書きされた文字は、土塔に結縁した人々の思いを伝える貴重な史料です。

土塔の文字瓦はこれまで 1100 点ほど見つかった。



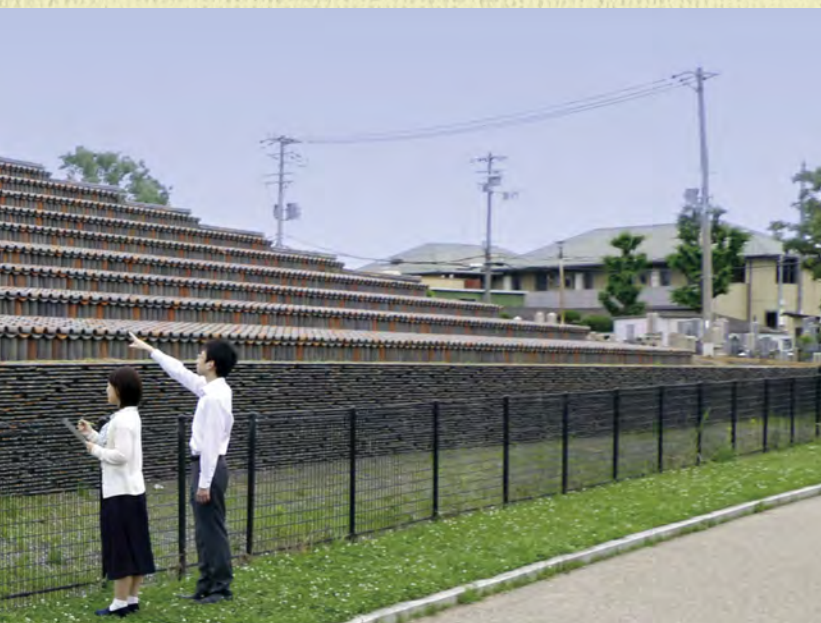
▲ ②復原された土塔

ていますが、その多くは人名でした。僧尼もいれば、俗人もいます。「土師宿祢」^{はじのすくね}「大鳥連」^{おおとりのみつらじ}「矢田部連」^{やたべのみつらじ}など、大鳥郡や隣りの河内国丹比郡の豪族の姓がめだち、この地域の人々が土塔築造の中心であったことをうかがわせます。しかし、人名を書いたのは豪族ばかりではなかったでしょう。「首名」^{おびな}「虫名女」^{むしなめ}といった無姓の男女名が多いのは、比較的低い階層の村人たちまでが自分の名を瓦に刻み、祈願を捧げたためと解されます。

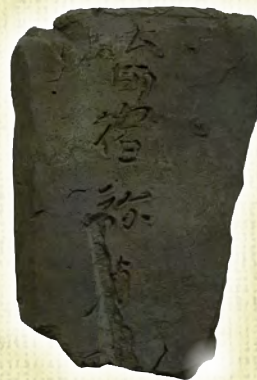
それでは、彼ら・彼女らは何を祈ったのでしょうか。まず因果応報の教えに基づき、善い果報を得ようとしたことが考えられます。また、文字瓦には「父母のため」などの文言が見出され、父母・先祖の追善供養を願ったものと推測できます。つまり現世利益と先祖供養の二つが、土塔にこめられた民衆的祈願だったわけです。

「もろともに知識^{ちしき}に入る」と書いた文字瓦もありました。「知識」とは、仏教的な善行を行なう信仰集団のことです。行基を慕う信仰集団によって壮大な土塔が築かれたことを、この瓦は雄弁に物語っています。こうした「知識」の力は、やがて大仏建立にもつながっていくのです。

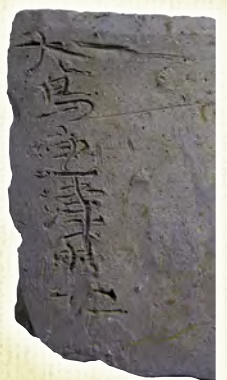
復原された土塔へは、泉北高速鉄道^{せんぼく}の深井駅^{ふかい}から歩いて10分ほどです。ぜひとも壮大な「瓦のピラミッド」を見上げ、1300年前の人々の祈りに思いを馳せてみてください。



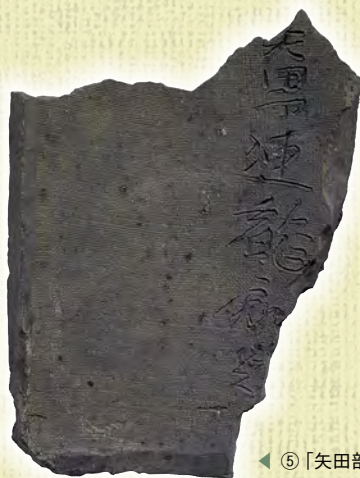
■大野寺土塔で見つかった文字瓦



▲③「土師宿祢□□」



▲④「大鳥連津虫女」



◀⑤「矢田部連龍麻呂」



▲⑥「首名」



▲⑦「虫名女」

●吉川 真司 (よしかわ しんじ)

専門分野／日本古代史

主要著書／『律令官僚制の研究』(塙書房, 1998年), 『日本の時代史5 平安京』(編著, 吉川弘文館, 2002年), 『天皇の歴史02 聖武天皇と仏都平城京』(講談社, 2011年), 『シリーズ日本古代史3 飛鳥の都』(岩波書店, 2011年) など
日本文教出版『中学社会』教科書著者



外国からみる日本の政治

—中国からみる(その①)

●筑波大学大学院教授 辻中 豊

国を比較する視点の大切さ

面積では日本の26倍、アメリカとほぼ同じ、人口は日本の11倍、アメリカの4倍の中国。経済規模（国内総生産）は、2010年に日本に追いつき、今は2倍に近いとされるこの隣国から日本の政治をみてみましょう。残念ながら社会科の教科書には、おそらくどの国でも、他の国と比較するという視点はあまりありません。私の経験では、比較の中に自らの国をおいて初めて、ひとつひとつの制度や組織、行動の意味が「目から鱗が落ちる」かのように体感されるのです。

グローバル化した現代社会では、毎日のように外国のニュースが飛び込んできます。中国については、大学のキャンパスでも有名な観光地やショッピングセンターでも中国からの人々がずいぶん目につくようになっていきます。爆発的な買い物、「爆買い」や領土や教科書をめぐる日中の問題、春先には黄砂、冬にはPM2.5など話題になることも多くなっていますが、実はお互いの政治についてはあまり知りあっていないようです。といっても私も中国政治の専門家ではないのですが、ふとしたことから中国の市民社会や政治を調べるようになり、2年前に『現代中国の市民社会・利益団体—比較の中の中国』という本を編著（木鐸社）で出版しました。今夏、中国語で出版（社会科学文献出版社）されます。



中国の利益集団と市民社会

中国と日本の政治を比べる、という発想は20年前の著者にはありませんでした。アメリカやヨーロッパ諸国、また韓国や台湾とは比較研究をし始めていましたが、中国は何か不思議な隣りの大国で、政治の仕組み、体制が社会主義ですので、日本とは根本的に違うということ、1980年代にずいぶん仲良くなって、90年代には好感度は少し落ちたものの、どんどん付き合いが増えているのはいいことだ、というぐらいの意識しかありませんでした。中国からの留学生も当時はおらず、ほとん

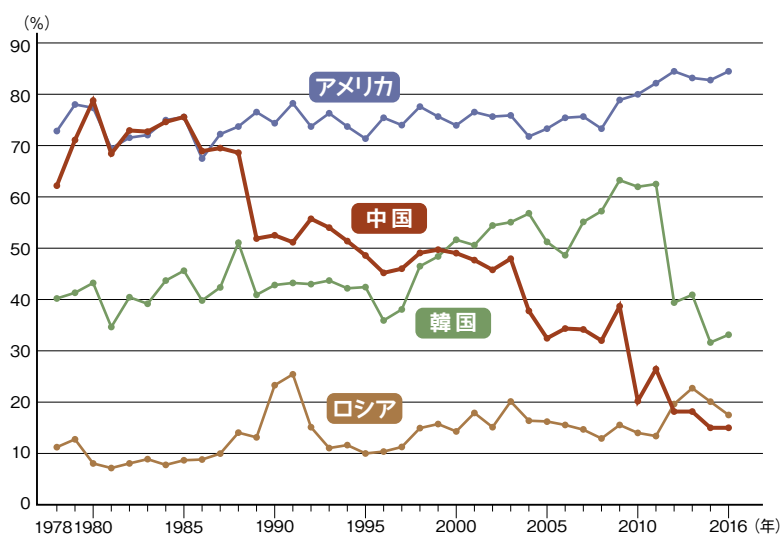


図1. 中国に対する日本人の意識の推移（内閣府「外交に関する世論調査」）



▲ 中華人民共和国北京市・釣魚台国賓館で「アジアと中国のローカルガバナンスにおける市民社会の役割」について講演する著者「北京フォーラム 2015」2015年11月6-8日

ど別世界のように思っていました。

1998年秋、突然、中国政治研究のリーダーである国分良成氏（当時、慶應義塾大学）の紹介で北京大学の研究者が数名、小生のもとを訪問しました。「利益集団」を共同研究したいとのことでした。利益集団とは、社会のさまざまな集団が政治に意見や利益を反映させるために組織（団体）をつくり、政治への働きかけをすることをさす言葉です。日本やアメリカ、ドイツ、韓国など自由民主主義社会では当たり前のようにたくさんの集団が団体（経済団体や労働組合、医師会や農協、NGOやNPO）を形成しており、政治に働きかける活動をしています。そのため、選挙や国会での論

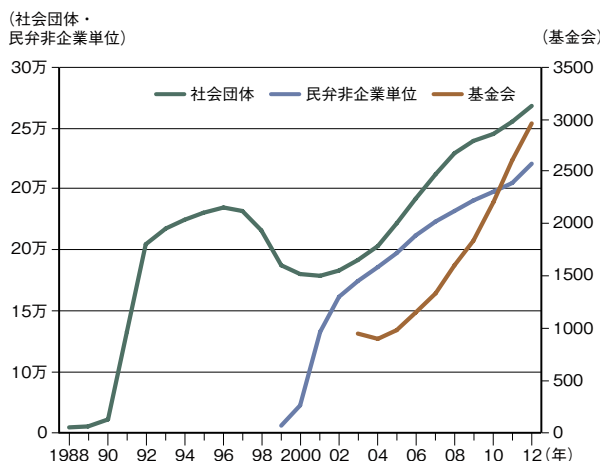


図2 中国での上からの利益集団・市民社会組織の形成
(辻中豊・李景鵬・小島華津子編『現代中国の市民社会・利益団体—比較の中の中国』木鐸社 2014年)

※社会团体、民非企业单位、基金会は、日本ではそれぞれ、社団法人、民間非営利事業所、財団法人にあたる。

●辻中 豊（つじなか ゆたか）

専門分野／政治学

主要著書／『大震災に学ぶ社会科学 第1巻 政治過程と政策』（東洋経済新報社，2016年），『現代日本のNPO 政治—市民社会の新局面（現代市民社会叢書）』（木鐸社，2012年），『利益集団（現代政治学叢書）』（東京大学出版会，1988年），日本文教出版『中学社会』教科書著者



戦、政府の活動の裏側を知るうえで、つまり政治の実際の仕組みをみるうえで不可欠の見方です。

しかし、社会主義であり共産党独裁（つまり他の政治組織はほぼ無意味）と考えられている中国でなぜ利益集団の研究が必要なのでしょうか。図2で示したように、1990年代以降、特に21世紀に入って様々な社会の組織を中国政府は作らせつつあるのです。これが利益集団研究の必要な背景です。彼らは私に「どのようにして利益集団は政治に意見を反映させるのか、影響力をもつのか」と質問しました。そのとき、うかつなことに政治学者である私が気づいていなかった、自由民主主義社会において「選挙」がもつ本当の意味での重要さが分かったのです。これまで何度も講義で説明していながら、市民にとって選挙が大切だと体感したのはこのときでした。

問題は中国には選挙がない、あってもほとんど市民が参加できない、できたとしても選択肢がない、ということです。

21世紀には中国でも利益集団が重要になり、市民社会（中国語では公民社会）が普通に使われる言葉になりました。現在、私の研究室には、市民社会、NGO/NPO、地方政治、福祉政治、メディア、国際政治と市民社会などのテーマを研究しようと、毎年10名ほどの中国の若者が研究にやってまいります。彼らにとって21世紀は市民社会の時代なのでしょう。日本の若者より、市民社会や選挙に熱烈な関心を持って、未来の中国を知るためにやってくるのです。この熱意と中国の政治体制の大きなギャップをどのようにひも解いていけばよいのか、このことについて次回は述べたいと思います。

長崎近代交流史と 孫文・梅屋庄吉 ミュージアム

●長崎県文化振興課主任学芸員 齋藤 義朗

長崎県では、2011（平成 23）年が中国の辛亥革命から 100 周年にあたることを契機に、その指導者として知られる孫文（1866～1925）と、長崎出身の実業家・梅屋庄吉（1868～1934）との間に芽生えた、国境を越えた友情の歴史に光をあて、2010（平成 22）年から「孫文・梅屋庄吉と長崎」プロジェクトとして、顕彰と



▲ 旧香港上海銀行長崎支店（国重要文化財）



▲ 孫文と梅屋庄吉・トク夫妻
（1914〔大正 3〕年 3 月、撮影地：東京）〈小坂文乃氏蔵〉

情報発信に努めています。

2014（平成 26）年 4 月 26 日には、長崎に現存する洋館としては最大級の旧香港上海銀行長崎支店（国重要文化財、1904 年建築）に〈長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム〉を新たに開設しました。

銀行として使用されていた当時の雰囲気伝える空間のなかで、中国革命の父・孫文と、その思想に深く共鳴し、盟友として物心両面から生涯にわたり支援し続けた梅屋庄吉との厚い友情を、各種展示資料やタブレット端末・映像装置類から知ることができます。

孫文は 58 年の生涯のうち 10 年近くを日本で過ごし、長崎には 9 回にわたり訪問しました。孫文と梅屋の二人にゆかりある「長崎」についてミュージアムでは、唐人貿易の時代からつながりをもつ



▲ 大正期の香港上海銀行長崎支店（齋藤義朗蔵）



▲ 2F 展示室「孫文・梅屋庄吉と長崎」

長崎華僑の活躍や居留地における外国人商人の暮らし、交通・通信の拠点としての長崎などを紹介し、これまで歴史上注目されることの少なかった明治期以降においても長崎が日本の近代化に重要な役割を果たしたことを学んでいただけるようになっています。

このほか長崎県では、プロジェクトの一環として児童書『長崎の偉人 梅屋庄吉』読書感想文コンクール（毎年7～8月頃募集，対象：小学校高学年～中学生）なども開催し、11月の「孫文・梅屋庄吉友情月間」に館内で表彰式を行っています。

来館者のみなさまには、孫文と梅屋庄吉との国境や情勢に左右されない友情の歴史、国際人として活躍した梅屋の歩み・功績などを通して、これから進むべき未来を考えるきっかけとしていただければ幸いです。



▲ 松が枝国際ターミナルに大型客船が接岸するとミュージアムからは巨大な壁のように見える



▲ 2011年10月、中国政府から長崎県へ辛亥革命100周年記念で寄贈された「孫文と梅屋庄吉・トク夫妻三人像」（ミュージアムのそば、松が枝国際観光船ふ頭緑地）

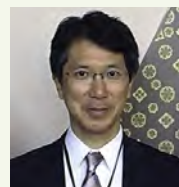


**長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館
長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム**
〒850-0921 長崎市松が枝町4番27号
TEL：095-827-8746
公式サイト：<http://www.nmhc.jp/museum/>
開館時間：9:00～17:00
休館日：毎月第3月曜日（祝日の場合は翌日）

奈良国立博物館の 学芸員の仕事

● 内藤 栄 (ないとう さかえ)

筑波大学において博士(芸術学)を取得。現在、奈良国立博物館学芸部長。専攻は仏教工芸史で、正倉院宝物や美術工芸を研究テーマとしている。著書に『舍利莊嚴美術の研究』(青史出版、2010年)がある。



● 奈良国立博物館学芸部長 内藤 栄

学芸員は博物館において専門的な仕事をする職員である。博物館には歴史的遺物や普通には手に入らない珍品があり、学芸員はそれらを研究し、展示、解説などの仕事を行う。博物館には美術館、動物園、水族館、植物園なども含まれるから、美術が好きな人や理系の人が活躍する職場もたくさんある。私が勤める奈良国立博物館は仏教美術専門の博物館で、国宝や重要文化財も数多くある。学芸員は16名いるが、彼らに共通することは仏像や仏画、工芸品などの文化財や考古学が好きでたまらないということである。かくいう私もその一人である。

子供のころの私は仏像が好きな変わった少年だった。仏像好きが高じて将来お坊さんになろうと考えた時期もあったが、高校生の時、学芸員という職業を知った。学芸員になればじかに仏像に触れ、仏像の研究を好きなだけできる。これぞ天職と思った。そこで大学、さらに大学院で美術史を学んだ。学芸員の資格は大学で所定の課目を履修すれば取得できるが、学芸員の募集は少なかった。27歳で東京のサントリ美術館の学芸員になったが、奈良に住んで博物館に勤めるという長年の夢を叶えたのは35歳の時であった。

学芸員の主な仕事は、資料の収集、保管、調査・研究、展覧会の開催、教育活動、普及活動などである。一般に博物館には広い収



▲ 特別展「白鳳」会場 奈良・薬師寺の聖観世音菩薩像や東塔水煙など白鳳文化の粋が結集した

蔵庫があり、資料が保管されている。資料には館が所有する資料のほか、外部から借りている品もある。これらをまとめて博物館資料、あるいはコレクションなどと呼ぶが、収蔵する条件は資料的な価値が高く展示にふさわしいこと、そして本物であることである。そのため、学芸員は資料が作られた国や時代、作者、材料や制作技法などを言い当て、本物と偽物を見きわめる鑑識眼を持つ必要がある。テレビでお宝鑑定番組があるが、あの鑑定士の中には元学芸員が何人かいる。



▲ 展覧会に出品する作品を点検する筆者

このようにして集まったコレクションや、必要ならば外部の資料を用いて展覧会を開催する。展覧会は資料をただ並べれば良いわけではない。テーマに添って数ある資料から展示物を選び、それを順番に配置しないとイケない。すばらしい展覧会是一篇の小説を読むようなストーリーやメッセージがある。皆さんが

展覧会で見る資料は昔の人が作ったものであるが、それらを研究して価値を見出し、解説を付けて展示しているのは学芸員である。言ってみれば展覧会は学芸員の「作品」である。学芸員が違えば同じ博物館で同じテーマで展覧会を開いても違う内容となるであろう。コレクションあつての博物館だが、学芸員がいて初めて資料に命が吹き込まれる。

最後に学芸員になって良かったと感じたことをお話ししたい。私は展覧会は未知の、あるいは忘れられている「人」や「もの」、「世界」を見せることが大切だと考えている。著名な作家や作品の場合でも、見過ごされている一面が必ずある。奈良国立博物館の昨年夏の特別展「白鳳—花ひらく仏教美術—」は、近年教科書から消えてしまった「白鳳時代」を再評価しようという試みであった。白鳳文化を代表する仏像や工芸品、考古遺品など総数150点が集まり、他の時代にはない独自性があることを感じていただけたと思う。実物を通して人々に何かを語りかけ、時には大きな思い出を残せることが、学芸員としてもっともやりがいのある仕事である。

平成27年度版 小学社会 デジタル教科書 5年・6年

発売中

- グラフ・地図の読み取りに便利な「凡例別表示」
- 教科書掲載の全ての写真や図版をクリック一つで「単独拡大」
- 徹底的にこだわった動画資料を収録



【価格】指導者用／校内フリーライセンス

- ・DVD-ROM 4年契約版 各**64,800**円（本体60,000円+税8%）
- ・DVD-ROM 1年契約版 各**18,360**円（本体17,000円+税8%）

平成28年度版 中学社会 デジタル教科書 地理・歴史・公民

発売中

- グラフや地図の「凡例別表示」と全写真・図版の「単独拡大」で資料の読み取りが進化
- 地理の内容の理解を助ける地図や雨温図の「重ね合わせ」
- 仕組図をわかりやすく解説、動きがある「仕組図」コンテンツ



【価格】指導者用／校内フリーライセンス

- ・DVD-ROM版(地理・歴史) 各**84,240**円（本体78,000円+税8%）
- ・DVD-ROM版(公民) **81,000**円（本体75,000円+税8%）
- ・DVD-ROM 1年契約版 各**22,680**円（本体21,000円+税8%）

■デジタル教科書サポートサイトのご案内

デジタル教科書の商品案内をはじめ、インストール手順やFAQ、操作方法、活用例、ご採用校様特典など、幅広いサポート内容となっています。最新情報も順次公開していますので、ぜひ日々のご活用にお役立てください。

日文 デジタルサポートサイト

検索

■体験版のご案内

教科書紙面を表示しての実際の操作や、豊富な種類のコンテンツを体験できます。

体験版(DVD-ROM)をご希望の方は、弊社Webサイト「ご要望・お問い合わせ」よりお問い合わせください。

※動作環境については、商品版と同じです。(サポートサイトをご確認ください)
※商品版と内容が異なる場合があります。



CoNETS 版
デジタル教科書

表示ソフトウェアは「CoNETSビューア」
(株式会社日立製作所製品)を採用しています。

教科書訂正のお詫び(小学社会) ◎平成27年に供給いたしました教科書に訂正がございます。弊社Webサイト「小学社会」資料ダウンロードページをご確認のうえ、ご指導の際には十分ご注意くださいようお願い申し上げます。

編集後記

『社会科 NAVI』は、読者の皆様により、読みやすい冊子をお届けするため、今号よりオールカラーにするとともに、判型をA4サイズへと大きくして、デザインも一新いたしました。

新連載として、最新のトピックを取り上げる「ここに注目!」、先進的な取り組みを行う学校を紹介する「教育現場の熱視線」、経験豊富な先生による授業

を紹介する「実践ファイル」、社会科の魅力や醍醐味を味わうことができる授業づくりの知恵や技を取り上げる「社会科のABC」、時事ニュースを噛み砕いて解説する「現代社会ウォッチング」等々を掲載し、より読みごたえのある内容構成にしています。

今後とも『社会科 NAVI』をよろしくお願いいたします。

発売中

平成28年度版

中学社会 研究ノート

秀学社だからできる! 日本文教出版の教科書完全準拠ワーク&ノート!



地理 上 / 下

(世界地理) (日本地理)

定価 各**540**円(税込)
A4判 81頁/97頁 2色
別冊解答集付
●別売: 教師用書(赤刷)



歴史 1 / 2・3

定価 各**520**円(税込)
A4判 各96頁 1色
別冊解答集付
●別売: 教師用書(赤刷)



公民

定価 **580**円(税込)
A4判 97頁 1色
別冊解答集付
●別売: 教師用書(赤刷)

■主な特長

- 予習・授業・復習まで徹底対応!
- 左ページはワーク!
基礎・基本を習得してから、思考力・判断力・表現力を鍛える二段構造!
- 右ページはノート欄!
学習課題やキーワードを書き込むことで予習ができる!
- 単元末の確認テストで入試問題にも対応!
- 教師用書には、ポイントをおさえた板書例つき!

■お問い合わせはこちら

秀学社Webサイト
<http://www.shugakusha.co.jp/>
TEL: 06-6695-1331 FAX: 06-6606-5171

■詳細は秀学社Webサイトへ!

秀学社

検索

社会科 NAVI Vol.13

日文教育資料[小・中学校社会]

平成28年(2016年)7月11日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社
〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33311

日本文教出版 株式会社

<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261 FAX: 06-6606-5171
東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL: 03-3389-4611 FAX: 03-3389-4618
九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL: 092-531-7696 FAX: 092-521-3938
東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261
北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690